



親木の反対側が肥大している



親木から離れた位置のひこばえ

この現象は樹種が異なりますが、至るところで確認することが出来ます。ひこばえが成長すると自ら光合成した栄養分で成長し、親木に頼る必要がなくなるからで、親木側の根は成長が止まります。自立するのは喜ばしいのですが、庭園や植栽場所全体の状況から残す、残さないの判断に迫られるケースが出てきます。

一つの目安として、親木の樹勢が弱く、更新が必要な場合は後継樹として親木側の根を切除してひこばえを残し、親木が元気な場合は早めにひこばえを切除することになっています。